

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第5回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

○ 二貫寺の森の活用について

1) 今後の進め方について

2) グループワーク

3) 今後の自主的審議について

3 開催日時

令和4年10月25日（火） 午後7時から午後8時37分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・ 委 員：川上俊一、川上奈津子、川上 久雄（会長）、西嶋 明子、服部幸雄
堀川 悦郎、山岸 愛、山岸 真也、山田 哲平（副会長）（欠席3人）

・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【川上会長】

- ・会議録の確認：山田副会長に依頼

次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」に入る。
最初に「1) 今後の進め方について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料 1 について報告
- ・参考資料 1、参考資料 2 を基に説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

既に委員は目にしていると思うが、意見書は一応まとめ上げてある。この形で提出済であるため、約 1 ヶ月後には、市担当課から回答があると思う。委員全員の意見が全て網羅されているかは難しい点もあるが、市長の目には止まると思う。

中川市長も以前はNPOに所属していたようなので、私たちの活動を認めていただければありがたい。

【堀川委員】

意見書についての感想を、一言発表させていただきたい。

前回の会議で色々と意見を言わせていただいたが、この意見書の案を先日読ませていただいて、非常に我々が話してきたことをよくまとめられていると思った。項目が多いと言ったが、今は非常にわかりやすくなったと思っている。一番いいなと思った点は一番下を書いてある、「新たな森の利用方法を創出し、集客効果を高めるため、入口付近のエリアなど場所を限定して公園化していくことも併せて検討をお願いします」の部分である。

この一文が入っていることによって将来性を感じるので良かったと思う。

今まで具体的にどこを目指していけばいいのかと思っていたが、集客効果を高めるため、入口付近のエリアに限定して公園化していく。二貫寺の森研究会の平野会長も同様の発言をしていた。この方向を目指していけたらよいと個人的には思う。

【川上会長】

堀川委員が言われたように、今後の方向性も含めて、これからグループに分かれて、本格的にどういうふうにしていきたいか、話し合ってもらいたいこととする。意

見書の回答はまだわからないが、回答によっては方向性も変わってくるかもしれない。事務局からあったように、今のところは住民のアンケートや視察をすることも結構である。それも含めて、もっと具体的にどういうふうに進めたいか、話し合っていたきたい。後で委員全員から発表いただき、まとめていきたいと思う。

それでは「2) グループワーク」を行う。終了後、各委員より意見を伺う。

— グループ審議 (50分) —

会議を再開する。

「3) 今後の自主的審議について」に入る。

今後の自主的審議の進め方に関し、情報収集等について意見を求める。

【山岸 愛委員】

私たちの話し合いでは色々な意見が出た。中でも意見書にあった、入口付近をどうしたら綺麗になるかといった話が多かった。

広大な面積を簡単に整備するのは難しい。ただ、入口がすぐわかることと、中の様子がわかることは大事であり、道沿いに駐車場を作ることで管理棟が見えるようになれば、入りやすい環境ができるのではないかという意見があった。どこまで入っているのかが曖昧なため、車でぬかるみに入ってしまうことも、入口が整備されることでなくなると思う。

森の中の細かな整備に関しては、すぐにアイデアが浮かばないため、入口や道路脇を整備するという意見が多かった。

また、例えば草木のプロみたいな人に、ここに手を加えた方がよいなどの具体的な見積もりや計画年数等、ビジョンやゴールが見える話が聞けたらよいと思った。森林組合でも造園士でも観察会の時に来てくれた森に詳しい人でもよい。例えばこの木を三本切るだけで環境は変わります、などの具体的なアドバイスがあると良い。

何のためにそれをしたいか、と問われた時には高田公園のような、人が集まれる広場としての公園にしたいからだと思う。

色々な話があり、本当にまとめられないが、人を集めるイベントを本気で1回やってみて、反応をみることも考えた。それを通じて、区外の人に知ってもらいながら、草木のプロから集客方法を聞きたい。自然公園を実際管理している団体の方からも、経営として成り立つ集客人数、事業規模、ボランティア体制を具体的に聞きたいと話

した。

【山岸 真也委員】

私たちのグループは、まず諏訪の住民にアンケート調査を実施する意見があった。アンケートによって、私達の活動を知ってもらうことと、住民の方たちからの意見、要望等を聞き、それを参考にまた次の活動につなげていけると良いと思う。

そのほかに、他の施設を視察して二貫寺の森の参考になる施設運営方法はないか、二貫寺の森をどんどん行事に使ってもらうことによって活性化できないか、について話し合った。

【山田副会長】

山岸委員が報告した通りだが、例えば他の地区を視察した時に、主となる団体に話を聞くのもよいが、例えば地域の町内会長さん等に、地域住民としてどういう携わり方をしているか、聞くのも一つの方法だと思う。

二貫寺の森では主となる団体はなく、イベントごとに他の団体が使っているという状況である。例えば他の地区における過去の話や、現在に至った経緯などを聞くのも一つの方法だと思う。

アンケートについては、地域協議会で話している内容が、地域に浸透していないと感じられるため、住民から意見をいただくということで、少しでもこの二貫寺の森に関心が向くようにと思いを込めている。

【川上会長】

意見を踏まえ、今後の進め方について事務局より説明を求める。

【藤井係長】

大きく2つの案があったと思う。アンケートを実施して住民の皆さんから活動を知っていただき考えを聞きたいということ。他の地域で実行していることを参考にするため話を聞く、あるいは現場を見るということ。視察は季節が冬になってくるが、いずれも実施は可能と思っている。

アンケートの中身や視察の行き先など、目的とマッチして選べるかはあると思うが、どちらをやるのか、両方やるのかを考えていただき、決めていただければ対応を検討したいと思う。ただ視察については、次の春を待つ選択もあると考えている。

【川上会長】

今の事務局の説明について意見等はあるか。

【服部委員】

視察は行った方がよいと思う。今すぐには結果が出ない方向に進んでいる気がする
ので、時間をかけてゆっくりやった方がいいのではないかと思う。

【堀川委員】

アンケートの大切さはよくわかるが、もう少し協議会で具体的な進め方が見えてき
た段階でもよいと思う。

【川上会長】

視察や講演を聞くことはよいと思う。事務局から説明はあるか。

【藤井係長】

これから冬に向かうので、視察に行くのであれば早めに行けるような形にしたいと
思う。この場では結論が出ないようなので、正副会長と相談の上、委員の皆さんにお
知らせしたいと思う。

【川上会長】

堀川委員の発言のとおり、アンケートはもう少し狙いを定めてからでもよいと思う。
アンケートの検討は、冬期間にできると思っている。いずれにしても正副会長で協議
の上、委員に案内したいと思う。

もし可能であれば、アンケートより先に視察、または講師を招へいしてアドバイ
スを聞ければよいと思う、できれば二貫寺の森の管理棟あたりで、会議を開いてその後、
二貫寺の森を一緒に歩ければ一番良いと思う。

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」を
終了する。

次に次第 2 議題「(2) その他」に入る。本日の議題に関して、何かあるか。

(発言なし)

最後に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を
求める。

【藤井係長】

・次回の協議会について説明

【川上会長】

— 日程調整 —

・次回の協議会：12月1日（木）午後7時から 諏訪地区公民館 集会室

・内容：自主的審議について

最後に、全体を通して何かあるか。

（発言なし）

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mailchubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。